



車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【令和3年4月号】

《令和3年度重点目標》『品格を磨き 見通しをもって 粘り強く 共に高め合おう』

新年度がスタートしました

4月6日(火)、13:30より令和3年度入学式を行いました。今年度も新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しての実施となりました。緊張した面持ちながら、堂々と入場し、担任の先生の「入学生呼名」に対してしっかりと返事をして起立する98名の新入生の姿からは中学校生活への期待感や意気込みが感じられました。コロナ禍にある今年度も、社会生活や学校生活では新たな対応や変化が求められることと思いますが、「式辞」では、そのような中で大切にしたいこととして次のことを話しました。抜粋してお伝えいたします。

本校は、教育目標「自ら学習する生徒」「心豊かな生徒」「健康でたくましい生徒」のもと、「品格を磨き見通しをもって粘り強く共に高め合おう」を重点目標に、今年度の教育活動を展開していきます。品格という言葉は難しそうだなと感じるかも知れませんが、私たちは「新しい価値観を創造していくこと」「絶えず高みを目指すこと」「相手を思いやりやさしく接すること」「最後まで全力を尽くすこと」を合い言葉に「自分自身をいろいろな角度から見つめ今の自分にとって本当に必要なことは何かを考え、進んで実行すること」を品格と呼んでいます。

新型コロナウイルスワクチン接種が始まりましたが、変異ウイルスの広がりもあり、収束の見通しは立っていません。今年度も、私たちには新たな対応や変化が求められるでしょう。そのような中で大切にしたいことは、「正しい情報を得ること。」「新型コロナウイルスに感染した人達、接触した人達、医療に係わる人達への差別・偏見・いじめを許さないこと。」「今を嘆かず今を受け入れ、大きな課題を仲間と協力し工夫して解決していくこと。」です。それが私たちがめざす「品格」なのだと思います。

中学校では小学校で培われた基礎の上に発展的な内容を積み上げていきます。学習内容が難しくなり、体育的、文化的な活動もレベルアップしますが、自分の将来の大きな夢を持ち、小さな目標を立て少しずつ努力を続けていけば、学びの楽しさや成長する喜びを感じ取っていくことができます。そして自分の進むべき道を切り開いていく力を身に付けることができます。

新入生の皆さんの心の中には期待とともに不安が渦巻いていると思いますが、先輩達は皆さんの気持ちにより添い、よき相談相手、手本として支えてくれることでしょう。そして鹿島中生276名が心を一つに日々の小さな努力の積み重ねを大切にして、「困難な状況でも最後まで決して諦めず新たな価値を創造する」という鹿島中学校の伝統を受け継ぎ、未来を生き抜くための大きな力となる「品格」を身につけていくことを期待しています。



対面式を実施しました



4月12日(月)、3・4校時、春の日差しが降り注ぐ青空の下、本校校庭で生徒会主催の対面式を実施しました。昨年度は臨時休校明けの5月29日にリモートにより実施しましたが、今年度は、広々とした校庭で、常時マスクを着用し、間隔をとるなどの新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら行いました。

生徒会長の歓迎の言葉に続き、学校紹介、生徒会活動や各部活動の紹介を行いました。部活動紹介では各部活動ごとにパフォーマンスをおりませながら部の特徴をアピールしました。最後に新入生代表が「鹿島中学校の一員になれたことに喜びを感じています。早く学校に慣れて先輩方と一緒に歩いていくことができるように、そして鹿島中学校の伝統を引き継いでいくことができるように頑張っていきたいと思います。」と力強く中学校生活の意気込みを述べました。

3年生は全校生徒276名のリーダーとして、2年生は新入生と3年生を支える中堅学年として様々な場面で一人一人の役割を立派に果たしてほしいと思います。そして、新しい仲間である新入生を加えた全校生がお互いの違いを認め合い、尊重し合い、心を一つにして、コロナ禍の困難な状況を乗り越え、たくましく成長していくことを期待しています。